



IGC

No. 5

事務局ニュース 第29回IGC事務局

Tel : 0298-54-3627
Fax : 0298-54-3629

第4回組織委員会開催

去る1月23日に表記委員会が東京大学総合研究資料館で開かれ、和達清夫会長はじめ16人の組織委員が出席し、主に3月に発行予定のファースト・サーキュラーの内容についての議論がされました。またこの会議では、名誉総裁に皇族のどなたかの推戴をお願いする事を検討することになりました。

本委員会で新たに15名の組織委員と、以下の4名の小委員会委員長が選出されました。

財 務：嶋崎吉彦（日鉱探開株式会社）

出 版：白波瀬輝夫（地質調査所）

社交プログラム：野上裕生（京都大学霊長類研究所）

ジオホスト：藤井敬三（地質調査所）

なお、新たに事務総長を設置することにし、英文では次のように表記することになりました。

会 長：President of the 29th Session of the IGC（和達清夫）

組織委員長：President（佐藤 正）

事務総長：Secretary-General（石原舜三）

事務局長：Deputy Secretary-General（本座栄一）

財務委員長：Treasurer（嶋崎吉彦）

巡検について

IGC 京都会議では、島弧の変遷とプレート境界域の地質現象を実地に見ることをテーマに、国内と周辺国で地質巡検が実施されます。

ファースト・サーキュラーでは、国内巡検として会議前に25コース、会議中に18コース、会議後に37コースが提案されました。会議後のコースのなかには、海外巡検として韓国とフィリピンから1コースずつが提案されています。会議中を除く各地のおもなコースは以下のとおりです。

<北海道地方>

—Cretaceous arc-trench systems in Hokkaido

—Collision-related high- and low-P/T metamorphic belts in Hokkaido ほか7コース

<東北地方>

—Paleozoic and Mesozoic sequences in the Kitakami Mountains

—Cenozoic geology of the Northeast Honshu Arc ほか2コース

<関東地方>

—Transect of the Kanto Mountains

—Tanakura Tectonic Line: its movement and the opening of the Japan Sea ほか16コース

<中部・近畿地方>

—Hida metamorphic complex

—Late Cenozoic forearc basin filling: Kakegawa group ほか9コース

<中国・四国地方>

—Paired metamorphic belts: Ryoke and Sanbagawa

—Transect of the Outer Belt of the Southwest Japan Arc in the Kii Peninsula ほか9コース

<九州地方>

—Quaternary volcanic rocks in central Kyushu

—Cretaceous and Tertiary active margin sedimentation ほか4コース

<琉球列島地方>

—Geotraverse across the Southwest Japan Arc

—Recent coral reefs and Pleistocene limestones in the Ryukyu Islands ほか1コース

<海外>

—Porphyry copper and gold mines in the Philippines

—Granites and associated metallic mineralizations in South Korea